

# 仮定と結論－ 1

## ☆『仮定と結論』

あることがらが、「○○○ならば、△△△である」という形で表されるとき、「○○○」の部分『仮定』，「△△△」の部分『結論』という。つまり、始めに与えられている条件が『仮定』で、最終的に言いたいことが『結論』ということになる。

「次の文の『仮定』部分に——線を，『結論』部分に～～～線を引きなさい。」

☆「三角形ABCと三角形DEFにおいて、辺ABと辺DE、辺BCと辺EF、角Bと角Eがそれぞれ等しいとき、三角形ABCと三角形DEFは合同である。」

1, 次の文の『仮定』部分に——線を，『結論』部分に～～～線を引きなさい。

- ① 点A, Bを通過して線分ABに垂直に引いた2直線と、線分ABの midpoint Mを通過する直線との交点をそれぞれC, Dとするとき、線分CMと線分DMの長さは等しくなる。
  
- ② 三角形ABCの辺ACの midpointをMとし、Mを通過して辺AB, BCに平行に引いた直線が辺BC, ABと交わる点をそれぞれL, Nとすると、三角形ANMと三角形MLCは合同である。